

協会だより

(一社)秋田市建設業協会

目 次

1. 定例会議

- 運営委員会
- 理事会

2. 行事報告

- 担い手育成事業「建設業を体感しよう！」
- 協会役員ゴルフ大会・表彰式・懇親会
- 社会貢献活動事業（寄贈事業）
- 建功会

3. 部会・青年会等の活動

- 建築部会上期監査
- 青年会上期監査
- 土木部会上期監査

1. 定例会議

○運営委員会

10月19日(木)

委員長ほか8名が出席し、委員長挨拶、議長選出及び議事録署名人の選任後、以下のとおり議事が進められました。

《議事》

議案1 令和5年度(一社)秋田市建設業協会補正予算について 資料1

事務局は、補正予算について、本年7月豪雨災害による応急活動及び復旧支援のため、当初予算以外に収支が発生することから補正するものであることを説明しました。

次に、Ⅰ収入の部の4業務受託収入5,666,100円は、災害廃棄物の収集運搬業務を秋田市から受託したことにより、収入が発生したため補正するものであること、Ⅱ支出の部の1事業費支出6,666,100円は、①秋田市に災害復旧支援金を寄附することが9月25日の理事会で決定したことにより、社会貢献活動事業費のイ公共福祉施設等寄贈事業支出1,000,000円を補正するもの、及び災害廃棄物の収集運搬業務の受託費を当該業務に携わった会員に支払うため、地域振興に関する事業支出のイ防災・災害対策事業支出5,666,100円を補正するものであることを説明しました。

議長は、質問・意見を求めたが発言者はなく、全員異議なしとして補正予算を承認し理事会に諮問することとしました。

議案2 会員権継承について

① 株式会社 中山組

資料2

代表者の変更 旧代表者 千葉利則

新代表者 千葉利郎

(会員権継承願：令和5年9月20日)

事務局は、(株)中山組の会員権継承願の内容を資料により順に説明し、会員権継承審査基準にすべて適合していることを報告しました。

議長は、質問・意見を求めたが発言者はなく、全員一致で承認し理事会に諮問することとしました。

② 日本海建設電気株式会社

資料3

社名の変更 旧社名 三菱マテリアル電子化成株式会社

新社名 日本海建設電気株式会社

(変更届：令和5年10月17日)

代表者の変更 旧代表者 西中啓二

新代表者 直川雅俊

(会員権継承願：令和5年10月17日)

事務局は、日本海建設電気㈱の会員権の取扱いについて、前会員からの会員権継承と新規入会の二つのパターンがあるが、三役会において、会社の設立やこれまでの会員権の取扱いに関する経緯を踏まえ検討した結果、会員権継承とすることに決定したことを報告しました。

次に、会員権継承願の内容を説明し、同社については、業務執行体制が前の会社と変わらないことや、秋田市では、建設工事等入札参加資格審査申請書変更届により、前の会社の事業を継承する会社として取扱われていることを報告しました。

議長は、質問・意見を求めたところ、株式が前の会社とは全く違うため、新規入会として取扱うべきとする意見と、過去の経緯から会員権継承でよいとする意見に分かれ、審議の結果承認には至らず、提出された意見を付して理事会に諮問することとしました。

《その他》

なし

議長は全ての議事を終了し、午前11時45分に閉会しました。

○理事会

10月23日(月)

顧問1名、理事9名、監事1名が出席し理事会を開催しました。

長谷川会長の議長就任後、議事録署名人の指名にあたって、定款に定める議事録署名人として足利監事を指名しました。

次第により、以下のとおり会議が行われました。

《報告事項》

- ①協会・土木部会・建築部会合同親睦ゴルフコンペ・懇親会（9/28）
- ②担い手育成事業“建設業を体感しよう”（9/30）
- ③役員ゴルフコンペ・懇親会（10/17）
- ④運営委員会（10/19）
- ⑤秋田市へ災害復旧支援金寄附（10/20 市長面談）

事務局は、上記5項目について順に説明し、秋田市への災害復旧支援金の寄附については、振込みとは別に、協会三役が市長と面談して目録を贈呈したことを報告しました。

議長は、質問・意見を求めたが発言者はなく、理事会は報告を了承しました。

《議事》

議案1 令和5年度（一社）秋田市建設業協会補正予算について 資料1

事務局は、補正予算について、本年7月豪雨災害による応急活動及び復旧支援の

ため、当初予算以外に収支が発生することから補正するものであることを説明しました。

次に、Ⅰ収入の部の４業務受託収入５，６６６，１００円は、災害廃棄物の収集運搬業務を秋田市から受託したことにより、収入が発生したため補正するものであること、Ⅱ支出の部の１事業費支出６，６６６，１００円は、①秋田市に災害復旧支援金を寄附することが９月２５日の理事会で決定したことにより、社会貢献活動事業費のイ公共福祉施設等寄贈事業支出１，０００，０００円を補正するもの、及び災害廃棄物の収集運搬業務の受託費を当該業務に携わった会員に支払うため、地域振興に関する事業支出のイ防災・災害対策事業支出５，６６６，１００円を補正するものであることを説明しました。

議長は、事務局に、運営委員会で承認が得られたことを確認した後、質問・意見を求めたが発言者はなく、全員異議なしとして補正予算を承認しました。

議案２ 会員権継承について

① 株式会社 中山組

資料２

代表者の変更 旧代表者 千葉利則
新代表者 千葉利郎

(会員権継承願：令和５年９月２０日)

事務局は、(株)中山組の会員権継承願の内容を資料により順に説明し、会員権継承審査基準にすべて適合していることを報告しました。

また、運営委員会においても異議なく承認されたことを報告しました。

議長は、質問・意見を求めたところ発言者はなく、全員一致で承認しました。

② 日本海建設電気株式会社

資料３

社名の変更 旧社名 三菱マテリアル電子化成株式会社
新社名 日本海建設電気株式会社

(変更届：令和５年１０月１７日)

代表者の変更 旧代表者 西中啓二
新代表者 直川雅俊

(会員権継承願：令和５年１０月１７日)

事務局は、日本海建設電気(株)の会員権の取扱いについて、前会員からの会員権継承と新規入会の二つのパターンがあるが、三役会において、会社の設立やこれまでの会員権の取扱いに関する経緯を踏まえ検討した結果、会員権継承とすることに決定したことを報告しました。

次に、会員権継承願の内容を説明し、同社については、業務執行体制が前の会社と変わらないことや、秋田市では、建設工事等入札参加資格審査申請書変更届によ

り、前の会社の事業を継承する会社として取扱われていることを報告しました。

さらに、運営委員会においては、新規会員として取扱うべきとする意見が出たこと、継承又は新規入会いずれにしても、協会の趣旨を重んじて事業に協力してもらう必要があるとする意見が出たこと、及び審議の結果、これらの意見を付して理事会に諮問するとして承認には至らなかったことを説明しました。

議長は、質問・意見を求めたところ、運営委員会と同様の意見が述べられ、継続審議とすることに決定しました。

《その他》

(1) 協会関係行事の日程等

①上期監査（土木部会・建築部会・青年会・協会） ～11／中旬

②建功会 10／24（火） 午後5：30 車屋

③青年会ゴルフコンペ・忘年会

11／16（木） ゴルフ：秋田CC 午前9：10スタート

懇親会：午後6：30 かに本家

④土木部会忘年会 11／22（水） 午後5：30 津ねや

⑤建築部会親睦ボウリング大会・懇親会

11／29（水） ボウリング 午後5：00 ブルックリンストライク

懇親会 午後6：00 同会場

事務局は、今後の協会関係行事日程を説明し、了承されました。

(2) 次回理事会 令和5年11月 日（月）三役会10：00・理事会11：00

事務局は、次回理事会について、定例では11月27日（月）になることを説明し了承されました。

※ 次回の理事会 令和5年11月27日（月）三役会10：00理事会11：00

議長は、すべての議事を終了し午後0時20分に閉会しました。

2. 行事報告

○担い手育成事業“建設業を体感しよう！”

9月30日（土）

建設業に興味を抱いてもらうことを目的として、小学生を対象とした建設現場見学会及び建設機械の乗車体験会を実施しました。

当日は、児童19名、保護者11名の計30名が参加して、秋田市消防寺内・将軍野統合出張所新築工事（林・小南・明和建設工事共同企業体）の現場を見学した後、アクティオ秋田南営業所に移動して、バックホウの操縦やスーパーデッキの乗車などを体験しました。

体験イベント報告書

事業目的	近年、建設業を取り巻く環境は技術者の高齢化・若年層の建設業離れなどにより次世代を担う技術者不足が深刻な問題になっております。キャリア教育の一環として、建設業の職場体験を通して、好奇心の旺盛な小学生に建設業に興味を持っていただくことを目的とします。
事業内容	建設現場の見学。工事現場の状況を写真を交えて説明する。工事についての説明を行う。重機を実際に動かしての体験。バックホーの操縦、ホイールローダーの同乗体験、スーパーデッキの乗車体験、その他レンタル商品の操作体験等
実施日	9月30日
実施時間	9:00~12:00
参加者	30名 児童19名 / 保護者11名 (募集定員15名+保護者15名)
実施場所	見学会場：寺内・將軍野統合出張所(仮称)新築建築工事 体験会場：アクティオ秋田南営業所 秋田市御所野下堤4丁目1-2
募集方法	秋田市広報9/15付けに掲載 秋田市建設業協会近隣小学校へチラシ配布(約1,000枚)



配布物	イベントしおり、文房具、現場カード・重機カード、ペーパークラフト、重機マグネット、ティッシュ等
-----	---



アンケート結果

① イベント内容について

良い 9名 普通・悪い 0名

② 子供の反応について

興味を持っていた 9名 興味を持たなかった 0名

③ 現場見学・重機体験どちらに興味を持ったか

現場見学 2名 重機体験 9名 ※重複回答あり

④ 開催時間について

そのままよい 6名 午後開催・土日開催 3名 ※重不回答あり

⑤ その他意見等

とても楽しかったです。また機会があれば参加したいです。

楽しく体験できました。もっと大きな建設現場や建物の内での作業なども見学できる機会があったら嬉しいです。

子供たちが初めから興味があって参加しましたが、全日程とても楽しんで活動することができました。資料や口頭の説明が子供向きでとても分かりやすく、どなたも親切に質問に答えてくださったのがとてもよかったです。見学・体験できる内容も身近であったり小さい子供たちも楽しめる内容であったりと、うちの子供たちにぴったりでした。将来に向けたキャリア教育とてもよかったです。貴重な体験をどうもありがとうございました。

建設現場では、もう少し建築に関する話、現場で働く職人さんの話が聞けたら良かったと思いました。重機体験では、色々な機材に実際に触れられてとても楽しそうにいました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。また建設業のイベントがあったら参加したいと思います。お忙しい中ありがとうございました。

建設現場で重機が実際に使用されている場面が見たりできると良かったと思う。

実施画像



○協会役員ゴルフ大会・表彰式・懇親会

10月17日（火）

毎年恒例の協会役員ゴルフ大会が、南秋田カントリークラブで開催され7名が参加して日ごろの成果を競い合いました。

また、当日の表彰式、懇親会には10名が参加し、各賞の受賞や美酒美食に舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごしました。

新ペリア方式による成績結果は、以下のとおりです。

優勝 林 明夫（榊林工務店）

準優勝 伊藤 満（伊藤工業㈱）

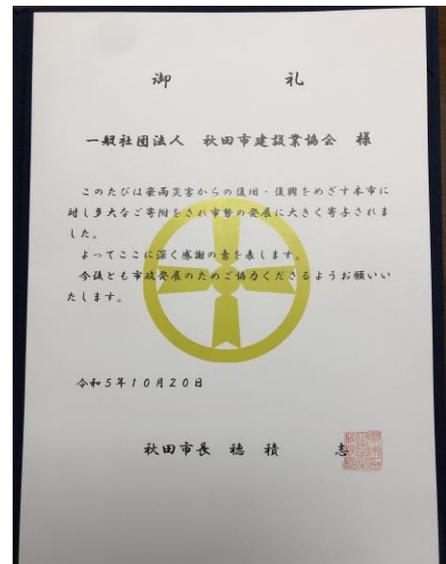
第3位 珍田 伸一（珍田工業㈱）（敬称略）

○社会貢献活動事業（寄贈事業）

11月20日（火）

本年7月豪雨で被災した地域のインフラ整備や被災者の生活再建等の復旧関連事業に寄与することを目的として、秋田市に災害復旧支援金100万円を寄附しました。

市長からは、災害直後の応急対策活動（災害廃棄物の収集運搬）へのお礼が述べられるとともに支援金に対する礼状が手渡されました。



○建功会

11月20日（火）

会員11名が出席し、秋田キャッスルホテル7階車屋において建功会が開催されました。

3年ぶりの開催ということもあり、伊藤会長の挨拶、そして田村副会長の乾杯に始まって、往年の話題に花を咲かせる楽しい時間が過ぎていきました。

3. 部会・青年会等の活動

○建築部会上期監査

10月26日（木）

建築部会の上期監査が工藤監事、足利監事によって行われ、収支決算及び会計諸帳簿の内容はいずれも適正であるとの監査報告書が提出されました。

○青年会上期監査

10月30日(月)

青年会の上期監査が田村監事、高島監事によって行われ、収支決算及び会計諸帳簿の内容はいずれも適正であるとの監査報告書が提出されました。

○土木部会上期監査

10月31日(火)

土木部会の上期監査が伊藤監事、渡辺監事によって行われ、収支決算及び会計諸帳簿の内容はいずれも適正であるとの監査報告書が提出されました。